

## 令和元年度 子育てコミュニティトーク(3)小・中学校

日時 9月30日(月)午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2

### テーマ1「子どもを守るための家庭での取組について」

#### ●学校教育部長

大きなテーマですので、スマートフォン(以下、スマホ)やインターネット上の危険から子どもをどう守るかという点に絞った内容でお伺いしていきたいと思います。今生まれてくるお子さんは、生まれた時から、パソコンやスマホがある暮らしをしています。便利な反面、無料通話アプリの中で悪口を言われてしまうとか、SNSに写真を投稿したことから、名前や住所などが特定されてしまうといった問題が生じています。子どもたちがインターネットを利用しているうちに有害情報に触れてしまい、ネット上の知らない人とつながってしまうということもあります。また、気軽に無料でゲームを始めたところ、ゲーム依存になってしまうことや目や脳への悪影響が心配されています。

また、昨年の中内閣府の調査において、スマホの所有率は、小学生で55%、中学生で66%、高校生では97%が所有しているとのことでした。

今日、皆さんと意見交換し考えていきたいのは、各家庭のお子さんは、どれくらいインターネットやスマホに触れているのか、何か困っていることやトラブルはないか、また、それをどのように守っていくかのアイデアや家庭でどのようにしているのか伺い、行政や教育委員会として子どもたちを守るための取組の参考にさせていただきたいと思います。

●子ども専用のスマホはまだ持たせていません。子どもの行動範囲が広がってくると、GPS機能は便利で安心感があると思うので、必要な利用制限などを設定して持たせたいと考えています。

●中学生の子どもにはスマホを持たせましたが、小学生の子どもには持たせていません。中学生の子どもに無料通話アプリの未読件数が数十件あった時にどうするのか聞いたところ、関係ないから特に気にしないと言っていました。未読や既読スルーについて割り切れると良いですが、気にする子もいると思うので、子どもの性格に合わせて対応していきたいと考えています。

●以前親が使っていたスマホを自宅のWi-Fiにつなげて使用しています。子どもは、皆が持っているから自分のものを持ちたいと言ってきます。ネット上で知らない人とやりとりをしても良いが、絶対に実際に会ってはいけないと教えています。

#### ●学校教育部長

最近のゲームは、知らない人とも協力して進めていくような内容になっています。知らない人とつながることでどんな危険があるのかなど、家庭でもお子さんと一緒に考えてほしいと思っています。

●小学校の低学年なので周りでもスマホを持っている子どもはいないです。動画サイトを子どもに見せていますが、なかなか時間を守れません。子どもにいつスマホを持たせるかは、まだ家族でも具体的な話はしていません。

●キッズ携帯を持たせていましたが、親のスマホを使うことが多く子ども同士で取り合いになって、親が利用できないことがあったので、上の中学生の子どもにはスマホを持たせています。

小学生の子どもはタブレット型 PC でゲームをしています。中学生の子どもはクラスで無料通話アプリを使用していて、親としては何かあった時に隠されてしまうことが嫌なので、相談しやすい関係になるように、あまりあれこれ言わず子どもとコミュニケーションをとっています。何か困ったことがあったら、すぐに親に相談するように言っています。

●習い事を始めた段階で、小学生の頃からキッズ携帯を持たせています。中学生になってからはスマホを持たせています。親のものを貸しているということ子どもに認識してもらうため、書面で利用のルールなどを記載した契約を子どもとしています。本人が納得して使っているので、今のところ問題はないと思っています。相手に直接言えないことを、無料通話アプリやメールで送ってはいけないということも言っています。相手がどう受け取るかは受け手のことなので、子どもには無料通話アプリやネット上でも常に相手がいるということを意識付けています。

パソコンは時間を決めてフィルタリング機能も設定して子どもに使わせています。学校では、夏休みの前など機会を捉えて子どもたちにスマホとの付き合い方を教えてくれているのでありがたいと感じています。

#### ●社会教育部長

皆さんに配布している資料に、市 PTA 連絡協議会が作成したスマホの利用関係の資料があります。その中に、ケータイ・スマホの誓約書もあるので是非参考にしてほしいと思います。

#### ●学校教育部長

先ほど、フィルタリングの設定をして子どもに利用させているとの話がありましたが、トラブルに巻き込まれたほとんどの家庭では機能をかけていなかったという警察の話も聞いております。必要なものを見たい場合は、親が確認できる状態で見ようとしている家庭もあるようです。

●子どもが習い事で遠くに行くので、心配な面が先行して連絡手段や居場所の把握のために、子どもにスマホを持たせています。小学生のときは、何の問題もなく過ごせましたが、中学生になってからは、SNS で自分のことを書かれて悩んだこともあったので、本人は、自分がやられたことは他の子どもにはやらないと言っています。使い過ぎている時には、取り上げることもあります。

#### ●学校教育部長

取り上げることはできますか。

●子どもは取り上げられると、逆に親の方が、連絡手段がなくなって心配になってしまうことを

分かっているようで、平気なふりをします。

●子どもの送り迎えを親がやっています。スマホなど連絡手段を持つと、時間を守らなくなってしまうと思うので、時間を守れるようになったら、持っても良いと子どもに言っています。

SNS に関しては、親も初心者なので子どもと一緒に勉強しています。子どもは習い事が多く、時間があまりないので、何かを頑張ったら、御褒美として Wi-Fi につなげるようにしています。

小学生から中学生になるときに、スマホを所持する子が多いようですが、学校の中でも、子ども同士の会話で良い言葉は使われていない様子で、クラス単位の無料通話アプリのグループでも、あまり良いやりとりがある印象は受けません。子どもたちも考えを持っていて、クラス単位の無料通話アプリに入っていないなくても、あまり影響がないことが分かると、自由に退会できることや、未読でも返信がなくても構わないなどのルールを決めて、別の新しいグループを作成しているようです。

#### ●学校教育部長

ネット上の荒れた世界がある中で、自分たちが関わりたくないグループから出て、ルールを決めて新しいつながりを作っていくというお話を伺いました。

御褒美として Wi-Fi をつなげるようにするというのは初めて聞きました。他の回でも家庭の状況を伺うと、テレビよりも動画サイトを見ている子どもが多いように感じます。好きな動画を次々と見ることができるので、あっという間に時間が過ぎてしまいます。また、ゲームに依存してしまうなどの状況も聞いています。

今回は小・中学校の近い学区の保護者が参加していますので、中学校から小学校の保護者に、小学校から中学校の保護者にスマホの利用状況などについて聴いてみたいことはありますか。

●子どもたちは、写真共有アプリを使ってやりとりしていることが多いようです。24 時間で消えてしまう機能を使って、チェックしないと翌日の学校で話についていけなくなるという状況になるそうです。親の世代が子どもの時には無かった状況なので、今の子どもが置かれている状況も理解して、気にしない子であれば良いですが、気にする子であれば、親も勉強して学んでいかなければいけないと思っています。

#### ●学校教育部長

子どもが有害情報に触れてしまうということ以外にも、動画投稿サイトに皆で楽しく踊っている動画を投稿したところ、嫌な書き込みをされしまった事例もあります。

SNS 上のトラブルなどから子どもを守っていくために、子どもたちが何に興味を持っているのか、どのような危険があるのかなど、各学校では保護者も参加可能な「スマホ教室」を実施していますので、是非参加してほしいと思います。

## テーマ2「地域との関わり方について」

#### ●教育総務部長

共働きの世帯や核家族が増え、仕事が忙しいこともあり、近所の方と話すなど地域での交流、

ふれあいがとても少なくなったと感じています。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定し、「地域全体が子育て家庭を支える、大きな家族になろう」という理念を掲げ環境整備を進めています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会などたくさんの方が、登下校時に見守りをするなど様々な方法で子育て世帯を見守っています。地域全体で子育てをすることは、いざという時に顔の分かる関係はとても大事ですし、ぜひ地域の方々とのつながりを持っていただきたいと思っていますのですが、なかなかつながりが持ちにくい、という声も聴いています。

本日お聴きしたいこととして、1つ目は、地域全体で子どもを育てることに、普段皆さんが感じていることをお聴きしたいと思います。2つ目は、関わりがなかなか持てない場合の理由をお聴きしたいと思います。

地域の自治会や子ども会行事に参加しているのか、参加できない理由があれば、それを取り払い、地域に溶け込んでほしいと思っています。

●愛甲児童館を利用することがありますが、上の子と下の子を結び付けて対応してくれているので、安心しています。公民館のイベントなどは、他の地区のものも含めて気にはなっていますが、案内チラシでは内容が分かりにくく参加に結びつきにくいと思いますので、会場の雰囲気やにぎわいなどが短い動画で見られるようになれば参加につながると思います。

●PTA からいただいた意見を伝えたいと思います。地域の人たちとは、あいさつや祭りに参加するなどして交流していることが多いようです。一方、きっかけが身近にないため、イベントに参加しにくく関わりが持てないという意見もありました。また、地域のイベントなども子どもと一緒に参加できるものがあると参加しやすくなるという意見もありました。

●地区のイベントを通じて、地域の人たちと関わりがあります。もっと広く地域との関わりを考えると、卒園しても幼稚園とつながりがあります。

●地区のイベント情報を子どもと一緒に見て、どれに参加したいか意見を聞いて参加しています。地域の方に子どもを育ててもらっていると感じています。

●地区の運動会や祭りには子どもを連れて参加するのが当たり前で、地域の関わりが強い地区だと感じています。しかし、子どもが遊ぶ場所が学校ぐらいしかないため、人の目が届きにくい地区でもあります。

#### ●教育総務部長

最近では、中学生が地域と積極的に関わっています。中学生を持つ家庭ではどのような状況ですか。

●中学生は地域の防災訓練に参加しています。愛甲小学校の生徒が東名中学校に入ってくるので、愛甲小学校の運動会の手伝いに行ったり、合唱コンクールに行ったり小学校と中学校の間で様々な関わりがあります。

以前住んでいた他市では、子ども会がなく児童館が廃止になったので、小さい子どもを持つ親としては、子どもが遊ぶ場所に困りました。同じ保育園に通う親との付き合いで遊びに行くということが中心でしたが、厚木市に引っ越してきてやはり厚木市は子育て環境や地域との関わりがあって良いなと実感しています。

中学生が地域の防災訓練に参加することで、災害にあったときにどう行動すれば良いのか、指導員や地域の方と子どもたちが一緒に訓練をすることはとても良いことだと思います。

●近所は世代が違うことや昔からの家が多く近所の方との関わりはあいさつ程度です。小学生の頃は、通学路には見守りの方がいて、児童館を利用することが多く大人の目があり安心感がありました。中学生になると子どもたちだけで公園や祭りに行ったりするようになりました。子どもが小学生の頃は子どもを通じて地域との関わりがありましたが、中学生となった今はあまり地域と関わりがなくなっていました。

●中学生が防災訓練に参加しているようですが、育成会として参加していた親と一緒に参加していたので、子どもが積極的に地域の防災訓練に参加していたということではないようです。

地域の祭りは子ども会が主体で子どもみこしをやっているので、前の役員と現在の役員が協力して開催しています。地区が広く世帯も多いので、広く声掛けは行っていません。

#### ●市長

高校生がスマホを通じて反社会的勢力とつながってしまい、警察に相談して何とか断ち切れたということがありました。また、使い過ぎると、目や脳へも影響があるというデータもあるので、便利なものですが、そういうこともあると認識しておいてもらいたいと思います

地域との関わりについては、私たちが子どもの頃はどうか顧みながら、大切なものを子どもたちに伝えていってほしいと思っています。ある地域では、子ども会を自治会に取り込んで、子どもたちを見守っていきましょうといった活動も出てきております。社会は人とのつながりが希薄化する方向に動いていますが、つながりがある地域には温かみや子どもたちを見守る目線も多くなり、そういうことを創りあげていくのが我々の責任でもあります。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**